

☆図書室から本の紹介をします☆

福島県男女共生センター図書室だより

第 41号
2011. 7. 20

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	ひとり上手な結婚	伊藤理佐/漫画 山本文緒/文	講談社	3101ヒ
2	どうしても嫌いな人～すーちゃんの決心	益田ミリ	幻冬舎	3103マ
3	誰にも言えないアソコらへんの話。 ～肛門科・泌尿科・婦人科の知りたかった正しい 情報教えます。	たかぎりようこ	マガジンハウス	5104タ
4	放射線防護の父～シーベルトの生涯	Hans Weinberger/著 山崎岐男/訳	考古堂書店	1203ワ
5	地震列島日本の謎を探る	日本地質学会/編著	東京書籍	2114ジ
6	いちばん大事なこと～養老教授の環境論	養老孟司/著	集英社	4207ヨ
7	響きあう市民たち～NPOとボランティア入門	吉永宏/著	新曜社	4209ヨ
8	山古志村ふたたび	中條均紀/著	小学館	6104ナ
9	原発事故 残留汚染の危険性 ～われわれの健康は守られるのか	武田邦彦/著	朝日新聞出版	4207タ
10	までのいの力	「まてい」特別編成チーム /企画編集	SAGA DESIGN SEEDS	4208マ

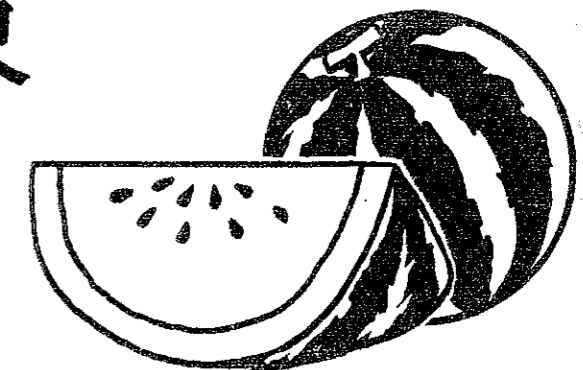
ライブラリー

散 歩 道

今月のテーマ

本の花束

—未来を信じて—



編集後記

あの震災から四ヶ月が過ぎようとする七月二日、情報紙ボランティアが仲間七人も久し振りに全員笑顔で顔を合わせる事が出きました。

それでも、まだ余震があり、原発の収束もまだの状況で不安な毎日を送っています。そんな中でも、ラジオ等から耳にした歌や、何気無く手にした本に、元氣や勇気を頂けたりしています。梅雨明けも今年は早く、夏は一段と暑くなりそうです。身体をいたわりながら一歩ずつ前に進んで行きましょう。

利用ガイド

◎利用時間

9:00～20:00

(休館日前日9:00～17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話

の使用はご遠慮ください。

発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター情報紙ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

福島県男女共生センター「女と男の未来館」 TEL 0243-23-8308 (図書室直通)

「静岡を生き生きさせる女たち」

「静岡を生き生きさせる女たち」制作委員会／編 静岡新聞社

この本は、静岡県内の各地で活躍している女性 100 人の「ひと、仕事、活動」を聞き取り取材し一冊の本にまとめたものです。ビジネス、職場、地域、国際交流、福祉、アート、著述、教育研究、法律などその場面は広く多分野にわたり、またそこには時代の先端をいくフレッシュな女性像も登場しています。ここ福島は 3 月 11 日の東日本大震災から復興して行かなければなりません。そのための女性の生き方や、視点、発想などこれからの復興の道しるべ、いや、少しでも「がんばろう」という元気が出る本になればと思います。そして、いつか「福島を生き生きさせる女たち」などという本にめぐり会える日が来る事を信じています。(K. M.)

分類番号 6102 シ

「そして、ねずみ女房は星をみた

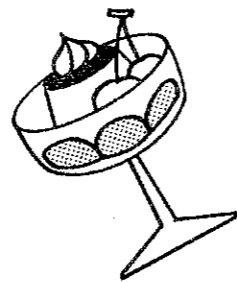
—大人が読みたい子どもの本—

清水眞砂子 テン・ブックス

いつか、どこかで読んだような、18 の子どもの本が、取り上げられている。「自由競争こそが社会を活性化するもの・・・格差は当然」とするのかなような社会で、その流れに乗り切れないでいる人々への応援メッセージを込めて、書かれている。

その内の 1 つ「ご機嫌いかが。がちょうのおくさん」には「ユーモア—冷笑でなく」とサブ・テーマが付いている。冷笑に傷つくことは多いなあ・・・。「どうせ、おれなんて・・・」とつぶやく多くの人々や、働いても、働いても報われない人々に、著者は「人生はいきるに値するよ、素敵だよ」と、呼びかけている。13 の物語全部といわず、1 つだけでも読んでみませんか。

(A. K.)



分類番号 6102 マ

「17 音の交響曲 (シンフォニー)」

黛まどか 東京書籍

3 月 11 日の大震災に続く、福島原発の事故以来、被災した人たちに寄せる思いや不安な日々を過ごす様子を俳句、短歌、川柳などの形として多く目にするようになりました。この本は著者が若き俳人として俳句の世界に入ったきっかけから始まり、若い人たちに俳句を広めたいとの思いが綴られています。そして旅と俳句こそが私のライフワークにたどりついたら・・・。スペインの巡礼道の踏破、韓国釜山からソウルを徒歩でなど。本書の三分の二の部分は対談集になっていて「韓国語での俳句の試み」「茶道と俳句」「スポーツと俳句」等々のタイトルがつき、各界の著名人との対談のテンポも軽やかで思いがけない答え方に興味がつきません。(I. M.)

紅い夾竹桃の花が暑い日差しの中でも元気に咲いています。「マイクロシーベルト」、「ホットスポット」などの文字に目が離せない毎が続いています。3 月の大震災、原発の事故以来、県内に住んでいる多くの人たちがふるさとを離れて（追われて）47 都道府県にちりぢりになってしまっています。今回の号もまた人と人の「さまざまつながりかた」から目をそらすことはできませんでした。当センターの図書を手にとって、ほっとひと息入れていただければと願いつつ選書いたしました。



分類番号 6106 カ

「乱世を生き抜く語り口を持つて

—新作講談の創り方語り方—

神田香織 インパクト出版会

地震、津波、原発、風評被害と四重苦に苦しめられている我がフクシマ。何か勇気づけられるような、面白い読みもの的な本が無いかと探してみ、この書名に目が止まりました。著者の神田香織は福島県いわき市の出身で、演劇の世界から講談界に入って活躍し、古典だけでなく自ら新作講談を書き、それを発表してきました。後進の育成にも力を入れ、今年、門下の神田織音が真打ちに昇進し、初の「師弟共に女性真打ち」を実現させました。講談は奥の深い芸であり、「自己実現」の話芸であるとし、講談教室「講談サロン」で、始めは控えめで声の小さかった人たちが徐々に自信をつけ発声法を身につけ積極的になっていく様子を目にします。この本では「講談（かた）る門には福来たる」として講談のこと、講談サロンのことなどを紹介し、更に「フラガール物語—常磐炭礦余聞—」他、新作五作品が載せられて居ります。著者の語り口そのままに楽しく読める本です。(W. T.)

「絵本の力」

河合隼雄 松居直 柳田邦男 岩波書店

新聞の一隅に、大震災の避難所に絵本やその読み聞かせのプレゼントがあって、子どもも大人も目を輝かせて見入り、聞き入ったという記事が出ていたことがありました。

「絵本の力」というこの本は、臨床心理学者の河合隼雄、児童文学者の松居直、ノンフィクション作家の柳田邦男の絵本にかける思いが熱く語られています。3 人の講演と討議の記録です。人生の折々、様々な危機に直面した時、希望や生きる力を与えてくれるものは、いろいろあると思いますが、絵本もそのひとつ。絵と少しの選ばれたことばがもたらす再生への力は大きいです。それをこの本に痛いほど教わりました。(S. N.)

分類番号 4201 コ

「素敵な節約！—オシャレで無理なく生活できる—

小若順一・食品と暮らしの安全基金著 三五館

ことしの夏は節電をしようと思っている方も多いのではないのでしょうか。そのような時にこの本のタイトルが目にとまり読んでみました。表紙には「本当のことを遠慮せず発信する NPO 法人の目から鱗集！」とあります。まえがきでは「『節約』について、『安全性の高い素材で作った素性のいい製品だけを、丁寧に、こまめに手入れや修理を行いながら使う、それが『節約!』と述べています。本書では、「ケチケチせず、無理なく、シンプルな生活がエコであり、地球環境によいことを教えてください。たとえばおそうじは重曹で。」など身近にできることばかりです。無理なく、継続して、生活していきたいと思いました。(T. Y.)

分類番号 4101 タ

「老いてこそ上機嫌」

田辺聖子 海竜社

著書のタイトルに魅せられて手にとってみた。この本は著者のこれまでの小説や随筆の中から、今を元気にたのしくなれるようにとまとめられたものである。著者は「人間の徳は人に対して上機嫌で接することと思っているが、これがむづかしく、相手の許容能力にも、性格にも、生育文化の質にもよるだろう」と言っている。これまでうん十年生きてきてもっと早くこのことを知っていたら、相手をキズつけることなく深くつき合えたのでは。この本に出会って、加齢と共に更により人間関係を保つためには、あとで顔を合わせて間が悪くならないように気遣いを忘れずに、機嫌よく過せたらと思うのである。(K. K.)

☆図書室から本の紹介をします☆

福島県男女共生センター図書室だより

第 42 号
2011. 9. 20

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	環境・エネルギー・健康 20 講 —これだけは知ってほしい科学の知識	今中利信、廣瀬良樹	科学同人	42071
2	原発のどこが危険か—世界の事故を検証する	桜井淳	朝日新聞社	4207㉿
3	核廃棄物は人と共存できるか	マルチーヌ・ドギオーム	緑風出版	4207ド
4	原子力の社会史—その日本的展開	吉岡斉	朝日新聞社	4207ㄱ
5	原発事故緊急対策マニュアル —放射能汚染から身を守るために	日本科学者会議福岡支部 核問題研究委員会/編	合同出版	4207ゲ
6	みんなで生き抜く防災術 —地震 停電 放射能 東日本大震災から私たちが学んだこと	小学館防災チーム/編	小学館	4208ㄴ
7	開発か環境か—地域開発と環境問題	北村修二	大明堂	4207ㄱ
8	わが奥尻島—悲しみを超えて、夢を追う	木村清紹	祥伝社	4208ㄱ
9	中越大地震—自治体の危険管理は機能したか	長岡市災害対策本部/編	ぎょうせい	4208ㄱ
10	原子力廃棄物を考える旅—欧州レポート	松田美夜子	日本電気協会 新聞部	4207ㄱ

ライブラリー

散 歩 道

利用ガイド

◎利用時間

9:00~20:00

(休館日 前日 9:00~17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話

の使用はご遠慮ください。

編集後記

第四二号をお届けします。図書室には散歩道でとりあげた本が並んでいるコーナーがあり、「その本貸し出し中」となっていると嬉しくおもいます。

テーマに沿った本ばかりでなく、文学から生活に役立つ本など新刊もたくさん入っておりますので、是非お立ち寄りください。

読書の秋に一冊はいかがですか。

今月のテーマ

本の花束Ⅱ

—未来を信じて—



発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター図書だより作成ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目 196-1

福島県男女共生センター「女と男の未来館」 ☎ 0243-23-8308 (図書室直通)

分類番号 4207 シ

「世界を救う 13 人のおばあちゃんの言葉」

キャロル・シェーファー
白石由利奈／監訳 ゴマブックス

この本はアメリカの 9.11 テロ事件をきっかけに開催されたグラ
ンマザー（部族の伝統的癒し手：シャーマン、ヒーラーなど）たち
の会議についてまとめたものである。先祖代々に伝わる祈り、和平、
癒しの方法が、現在切に必要とされると信じるおばあちゃんたち。

印象に残った一人の言葉「昨日は過去のこと（ヒストリー）、明
日は神秘（ミステリー）、今日は私たちへの贈り物。だから今日を
賢くつかおう」。太古の教えを受け継ぐ 13 人の言葉は、東日本大震
災という未曾有の危機に直面した私たちの心を打つものがあり、読
んでいてその会議の同時通訳で語りかけられるようにストーンと響
き、後日もう一度ゆっくりと読みたいと思う本である。（K. K.）

分類番号 4208 サ

「高齢者・障害者の災害時の避難支援のポイント」

災害時要援護者避難支援研究会 ぎょうせい

今年 3 月 11 日に起きた東日本大震災から半年を経過したが、
いまだに余震はときどきあり、原発の収束の見通しもたっていま
せん。

特に避難所での生活から仮設住宅へ移り、避難生活支援の内容
も多種多様になってきています。特に、高齢者や障害者の生活支
援はより細かく、希望にあった対応が求められると思います。そ
のような視点に立って提言をしているのが本書です。

福島では役場が移転した市町村もあり、マンパワーが不足して
いるため、効率的な作業が求められます。また、これからは長期
にわたる支援が必要で、そのために必要な具体的な対策ポイント
を紹介しています。当事者だけでなく、私たちにも参考になると
思いました。（T. Y.）

分類番号 6102 サ

「おれのおばさん」

佐川光晴 集英社

様々な理由で家族からはじき出された中学生の受け皿に
なっている児童養護施設が舞台。父親の事情による家庭生活
の激変から、そこで暮らすようになった中学 2 年生の男の子
の一年間の経験と成長の物語です。施設の内外でのできごと
に対応していく大人たちの工夫に満ちた解決策や行動力に
読みごたえがあります。特に肝っ玉のすわった施設の経営者
である「おばさん」の思いがけないアイデアが痛快で笑いを
誘います。（I. M.）

分類番号 6102 ヒ

「謎解きはディナーのあとで」

東川篤哉 小学館

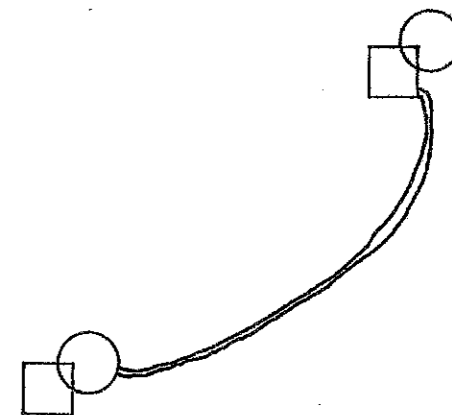
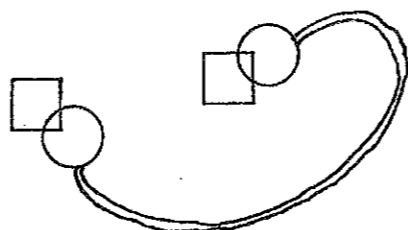
日々、放射能のことばかり考えてしまう今日この頃です。面
白くてちょっと考えながら読める本ということで、今回は推理
系の本を選んでみました。お金持ちの御曹司であって国立署に
所属する警察官風祭警部と女性刑事宝生麗子（彼女も実は執事
兼運転手を抱える宝生家の令嬢です）の二人を中心に殺人事件
の捜査が進んでいきます。読み易い文章で第一話「殺人現場で
は靴をお脱ぎください」から第六話「死者からの伝言をどうぞ」
まで物語の進行と同時に推理を働かせながら楽しく読み進めて
行けます。執事兼運転手の影山が読み手にとってライバルにな
るかも知れませんね。これからの秋の夜長にうってつけの本だ
と思います。（W. T.）

分類番号 6102 シ

「詩ってなんだろう」

谷川俊太郎 筑摩書房

直接、ストレートに心に響く詩の力が特に大震災以来、見直され
ているような気がしているところに、この本と出会いました。子供
向けに書かれ、おまけに大きな活字で印刷されています。読みやす
いです。わらべうた、ことわざ、なぞなぞ、早口ことば、はいく、
たんか、さんびか、あそびの詩、そしてふつうの詩らしい詩、いろ
んな「詩」が登場します。一篇ごとに笑いだしたり、泣きそうにな
ったり、そうだそうだと合点したり、へえ、こんなのも詩なんだと
妙に感心したり、とにかく構えずに楽しく読めます。子供だけでな
く、大人がよんでも、谷川俊太郎の解説に助けられて、何か生きる
ための本質的なものを学べるような本だと思います。（S. N.）



☆図書室から本の紹介をします☆

福島県男女共生センター図書室だより

第 43 号
2011. 12. 20

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	宇宙主夫日記 妻と娘と夢を追いかけて!	山崎大地	小学館	1202ヤ
2	ピース・ウーマン ノーベル平和賞を受賞した12人の女性たち	アゲリカ・U.ロイター、 アネ・リュッファー/著 松野泰子 上浦倫人/訳	英治出版	1203D
3	女、一生の働き方 貧乏ばあさんから働くハッピーばあさんへ	樋口恵子	海竜書	2202ヒ
4	こんなワタシが働く「お母さん」!? パニック障害といっしょ。	青柳ちか	イスト・ブイ	2202フ
5	パリジャンと思って結婚したら、ただの貧乏な オタクでした。	田丸ヒロ子	双葉社	3101ワ
6	手作り弁当を食べてる場合ですよ 格差社会を生き抜く処方箋	日垣隆	角川グループパブ リッシング	4203ヒ
7	「ゆるめる」身体学 ゆるめれば本当の自分に出会える	高岡英夫	静山社	5105ワ
8	ぶっちゃけナース	岸香里	いそっぷ社	5104キ
9	ひとりの午後に	上野千鶴子	日本放送出版協会	6102ウ
10	田部井淳子のはじめる!山ガール	田部井淳子/監修 NHK出版/編	日本放送出版協会	6201I

ライブラリー

散 歩 道

利用ガイド

◎利用時間

9:00~20:00

(休館日前日9:00~17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話
の使用はご遠慮ください。

編集後記

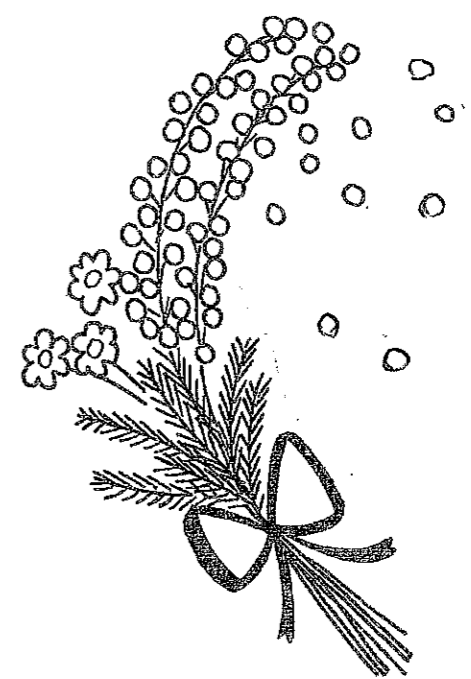
震災と原発事故にどっぷりつかつた年も暮れようとしています。これからの生活はどうなるのだろう・・・長期戦への覚悟も定まらぬまま不安が高まるのを感じています。

こんな時だから、心に「うるおい」が必要なのではないでしょうか。ちよっと楽しい話、うれしい言葉、人に教えたくなるような裏ワザ等々。図書館にたくさんの本が待っています。ぜひ、おいでください。

今月のテーマ

本の花束Ⅲ

—肩の力をぬいて—



発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター図書だより作成ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目 196-1

福島県男女共生センター「女と男の未来館」 Tel. 0243-23-8308 (図書室直通)

「先生たちが選んだ子どもに贈りたい 120 の言葉」

佐々木勝男 編著 民衆社

紹介されている 120 の言葉は、さまざまなジャンルのたくさんの本の中から選ばれたものです。子どもに贈るはげましのメッセージでもあり、今を生きる大人への応援でもあると思いました。言葉は聞く側の状況により、感じ方はいろいろです。そのときの気持ちを反映するので、勇気をもらいたいときにはこのページ、夢と希望を持ちたいときはこの文章というように楽しみながら読みたいものばかりでした。

(T. Y.)

分類番号 2113 オ

「77 歳カナダ英語留学日記」

—たくさんの出会いに支えられて—

岡崎つぎみ 川喜多コーポレーション

この本は約 2 ヶ月間の留学生活についてまとめたものである。勇気、度胸、笑いで話しかけ、やる気充分の 77 歳。「コスモス短歌会」の会員でもある著者は、文中で“眼鏡二つ交互にかけて黒板と本の英語を懸命に追う”“ハウ・アー・ユウ・ファイン・サンキュウ交しつつ微笑みて行く朝のキャンパス”と明るく詠んでいる。“重きドアを肩で押しあげ登校すおばあちゃん学生息はずませて”“ええまよあたってただけろ人生の終り近くに留学をする”

おちこむ日もあったようだが、女学生時代から温めてきた英語習得への想いを 70 代で実現するパワーに脱帽。第 5 章で—短期留学の私の準備とアドバイス—をあげているが、費用や学生寮とホームステイの違いなどすぐ役に立ち参考になるおすすめの一冊である。

(K. K.)

分類番号 2110 サ

『『ほどほど』で人生はうまくいく』

—モタさん流「仕事」「健康」「人間関係」のバランス術—

斎藤茂太 実業之日本社

モタさんはどんなことを私達にアドバイスしてくれているのか、歌人斎藤茂吉の長男である著者の名前にもひかれて読んでみました。がんばろうということばが世の中にあふれていて、ともすれば暗い閉塞感に襲われそうになる昨今、“ほどほど”ということばは本当に心を軽くしてくれました。

易しい文章で、自分に合った「ほどほど」のバランス感覚を心得ることこそ人生を充実させる秘訣と説き、多様な場面で具体的にその気持ちの持ちようを述べてくれて居り、得るところの多いものとなりました。今、この時にこそ、ぜひ一読をおすすめしたい本です。

(W. T.)

神経をとがらせながら、緊張の続く日々を過ごさざるを得ない状況がいつまで続くのか見通しがたちません。たまには精神をゆったりと遊ばせないと大人も子どもも息が詰まってしまいます。肩のこらない本の世界に旅をしましょう。帰ってきた時に気持ちにゆとりができて広い視野から物を見ることができるようになっているかもしれません。



分類番号 1203 テ J

「ナターシャ」

—チェルノブイリの歌姫—

手島悠介 著 広河隆一 写真 岩崎書店

1986 年 4 月ロシアのチェルノブイリ原発が事故を起こし、当時 6 歳だった少女ナターシャ・グジーも被爆したひとりでした。幼い友だちもたくさんいて、彼女たちはその後どのような思いを抱き、生活してきたか……。

作者はナターシャのふる里であるプリピャチ周辺やチェルノブイリなどを訪れ、そこに住んでいる人々の思いや原発事故のその後の様子を丹念に取材しています。ジャーナリストでもある広河氏の協力を得て、この作品をよりドキュメンタリー風にして、真実にせまろうとしています。

ナターシャは天性の美声と民族楽器パンドューラをたずさえて、ひき語り歌手として日本の各地でコンサートを開いています。

チェルノブイリの子どものための救援のために、そして自然資源の尊重さを訴えつづけて。

(I. M.)

「できれば機嫌よく生きたい」

岸本葉子 中央公論新社

見えないものに囲まれる閉塞感がジワジワと強まるなか、「素直に笑い・泣くことが助けになりますよ」と、呼びかけています。近頃、感動をひきおこす刺激の最小量、「感動の閾値」とでも言うべきものが下ってきた気がするという著者は、信じられないくらい簡単に笑ったり泣いたり。心の構えをとくいろいろの話が載っています。森茉莉さんを紹介している「贅沢貧乏」など、読んでみたい気持ちになりました。

(A. K.)

分類番号 5105 ヒ

「続 生きかた上手」

日野原重明 ユーリーグ

「続 生きかた上手」は 2001 年の暮れに刊行された「生きかた上手」の読者の皆様からのお声にさらに深くお答えしたい。もっと読者の方々と生きかたを語り合いたいという著者の強い思いで刊行されたとの事です。

著書の中に「どのような困難に直面してもここから始まるのだととらえ直すことができれば、私たちはかならず前進できます」と書かれております。

今沢山の方がそれぞれの苦難や悲しみに耐えて生きておられますが立ち向かう力や、今をいきいき生きる勇気をあたえてくれると思います。また、今年 100 歳を迎えられ益々お元気な日野原先生の「元気」が少し頂ける様な一冊ではないかと思えます。

(K. M.)

分類番号 4205 リ

「動物たちの愉快的な事件簿」

ユージン・リンデン 野中香万子 訳 紀伊國屋書店

雑種の中型犬を飼っている。生活を共にしていると彼（雄犬）の方が人間である私よりもずっとすぐれた存在のように思われることがしばしばある。

この本は、さまざまな動物たちの、たとえば狭い迷路もミミズのようにくぐりぬけるタコ、友情をはぐくむ北極グマとエスキモー犬、悲しみに沈む飼育係を懸命に慰めようとするチンパンジー、おなかをすかせた仲間血を分け与えるコウモリなどなど、人間の考えも及ばないような行動を紹介している。調教師や獣医、研究者など常に動物たちと接している人々から集めたエピソードの数々から、人間は万物の霊長などと言っているいい気になってはられない、もっと謙虚にならなければとつくづく感じさせられる。

(S. N.)

☆図書室から本の紹介をします☆

福島県男女共生センター図書室だより

第44号
2012. 3. 20

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	オトコのうつ イライラし、キレやすく、黙り込む男性のうつ を支える女性のためのガイドブック	デヴット・B. ウェクスラー /著者 山藤奈穂子/監訳 山藤奈穂子・荒井まゆみ/訳	星和書店	5101ウ
2	母親はなぜ生きづらいか	香山リカ	講談社	5101カ
3	子どもの心をストレスから守る本	笠原麻里	講談社	5101J
4	チェルノブイリの惨事	ロジェ・ベルベオーク、 ベラ・ベルベオーク/著	緑風出版	4207バ
5	こんな私が大嫌い!	中村うさぎ	理論社	1101ナJ
6	この気持ちいったい何語だったらつうじるの?	小林エリカ	理論社	6101JJ
7	大人になる前のジェンダー論	浅野富美江・池谷壽夫・ 細谷美・八幡悦子	はるか書房	1103カ
8	婚活貧乏 結婚してはいけない人を選ぶ方法	露木幸彦	中央公論新社	3101ツ
9	だいじょうぶ3組	乙武洋匡	講談社	6102カ
10	母一オモ二一	姜尚中	集英社	6102カ

ライブラリー

散 歩 道

編集後記

第四十四号をお届けします。震災の影響がいま尚続き、落ち着かない日が続いています。
先日蔭の蓋の油いたためを馳走になりましたが、新鮮な早春の香りに季節の確かな移ろいを感じました。
何事にもすぐ対応出来る気力体力を保つための健康に関する本を取りあげてみました。すぐ参考になるものもありますので是非お読みになってください。

利用ガイド

- ◎利用時間
9:00~20:00
(休館日 前日 9:00~17:00)
- ◎貸出冊数
本 5冊 15日以内
ビデオ 3本 8日以内
- ※どなたでも無料でご利用できます。
- ※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

今月のテーマ

心とからだを楽にする

—春の息吹を感じながら—



発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター図書だより作成ボランティア
図書室へのお問い合わせは
〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1
福島県男女共生センター「女と男の未来館」 TEL 0243-23-8308 (図書室直通)

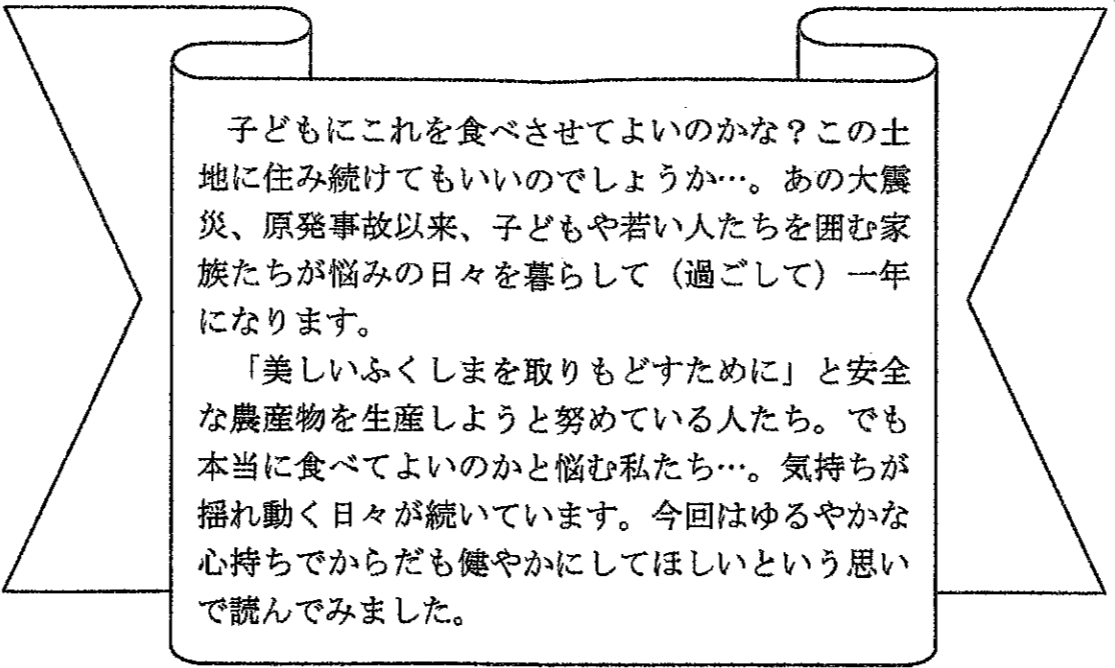
分類番号 1202 J

「やんちゃくれ」

—コシノのお母ちゃんと三姉妹の奮闘記—

小篠綾子 講談社

大正生まれで、戦前、戦中、戦後を洋裁一筋に生き、オートクチュールの草分け的存在となり 3 人の娘達も世界的なファッションデザイナーとして活躍中という著者。そうNHK朝の連続ドラマ「カーネーション」の主人公糸子のモデルとなったコシノアヤコさんの自伝です。呉服屋という伝統的な着物文化の最たる家の長女という立場ながら、男尊女卑の社会の枠の中に納まらず、果敢に世間に立ち向かって新しい洋装の世界を切り開いて行く様子は、高村光太郎の“道程”一僕の前に道はない、僕の後に道はできる—のように痛快で、一気に読んでしまいました。今年は大震災の復興元年です。著者のような前向きな生き方を心の糧とされるのも良いかと思えます。(W. T.)



子どもにこれを食べさせてよいのかな？この土地に住み続けてもいいのでしょうか…。あの大地震、原発事故以来、子どもや若い人たちを困む家族たちが悩みの日々を暮らして（過ごして）一年になります。
「美しいふくしまを取りもどすために」と安全な農産物を生産しようと努めている人たち。でも本当に食べてよいのかと悩む私たち…。気持ちが揺れ動く日々が続いています。今回はゆるやかな心持ちでからだも健やかにしてほしいという思いで読んでみました。

分類番号 6104 Y

「女・女」

山本容子 中央公論社

婦人公論の「表紙画」「表紙の言葉」として書かれた絵と文が中心になっています。女性の肖像が、彼女たちの評伝からヒントを得て描かれ、文が添えられています。二本松ゆかりの三浦環や高村智恵子、ココ・シャネルやフリーダ・ガーロ、カミュー・グロデル等々39名。それぞれ、時代も国も違うけれど、生き生きとそして時を駆け抜けていった女たち……。何か一つ、生きるヒントが得られればと思います。山本容子の絵もまた、その人となりユニークに描いています。(A. K.)

分類番号 5105 K

「歩くことから始めよう」

—この症状にはこの歩き方が効く！—

黒田恵美子 リヨン社

ウォーキングの 5 大メリットとして、①からだにいい！、②老化防止にいい！、③美容にいい！、④心にいい！、⑤脳にいい！と述べています。「一日一万歩」歩くとよいとよく聞きますが、実際に歩くことは難しいかもしれません。例えば、生活習慣やライフスタイル、職業によって個人差があるからです。この本では、ウォーミングアップや目的別の基本の歩き方を図を使いながらわかりやすく説明しています。また、ウォーキングなんでもQ&Aでは、素朴な疑問に答えています。便利な生活の中では、歩くことは意識しないとなかなかできませんが、「歩くこと、歩き方で人生が変わる！」と言われると歩こうと思えました。(T. Y.)

分類番号 5101 J

「おはなしの知恵」

河合隼雄 朝日新聞社

心理療法の第一人者である著者は、古来から伝え、読まれてきた「おはなし」（日本昔話、グリム童話、イタリア民話集、ケルト民話集など）が、いかに深い知恵を持ち、いろいろな考えを引き出す力を持っているか、読む人とともに考えてみたいと言っています。取り上げた「おはなし」は、初めはよく知られている「桃太郎」「白雪姫」など。だんだんなじみは薄いが「おはなし」の知恵の深さを感じさせるものになっていきます。著者以外の人たちの解釈も取り入れながら、笑いあり、時には度肝を抜かれるような展開もあり、思いつけない怖さに出会って、次はどうなるの？と先への興味が湧いてきます。(I. M.)



分類番号 5104 N

「眠れない夜はお母さんそばにいて」

—東大小児科病棟「めだかの学校」の子供たち—

阿部知子 ゆみる出版

この本は難病にかかって東大小児科病棟「めだかの学校」で過ごす子供たちと、それを支える医師、看護師、心理スタッフらの記録である。「めだかの学校」とは学校というより入院している子供たちが、治療以外の違った空間、絵を描き、音楽を楽しみ、遊園地に行ったり、庭に花を植えたりといった病気にならなければ、当たり前まえに経験したであろう普通に過ごす生活の場所である。著者は現在は、衆議院議員（社民党）。「私が子供たちの死について書こうと思った気持ちの背景には、死を間近に感じた子供たちの勇気や、我が子を受けとめ、その死まで支えた親たちの姿を外側にも伝えたい思いから」とある。著者には今後、国会議員として時に舌鋒鋭く国会の場に臨み、医療の充実などに力を発揮されるよう期待していきたい。(K. K.)

分類番号 5101 R

「心に傷をもった子供とどう向き合うか？」

マルセル・リュフォ 吉田良子/訳 KKベストセラーズ

著者はフランスの著名な小児精神科医である。「他人の弱さを尊び、自分の弱さを受け入れる。いつまでも子供の心を失わない夢想家」と著者紹介に書かれている。
この本は著者の 35 年間におよぶ臨床体験に基づき、ショッキングなものから、どこにでもありそうなケースまで多岐にわたる実例をあげて、子供の心について語っている。率直で大胆な発言を随所にちりばめながら、心に傷を負った子供と親に、あたたかく愛情に満ちたまなざしを注ぎ、人間に対する信頼、肯定が貫かれている。訳者の力量もすばらしく、わかりやすく読みやすい表現になっていて、活字も大き目である。震災後、心に傷をもった子供たちがたくさんいる。虐待に苦しんでいる子供たちや親もたくさんいる。出版は 10 年以上も前の本であるが、今の時代だからこそ、一人でも多くの人々に薦めたいと思う。(S. N.)

☆図書室から本の紹介をします☆

福島県男女共生センター図書室だより

第 45 号
2012. 6. 20

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	大塚女子アパートメント物語 オールドミスの館にようこそ	川口明子	教育資料出版 会	1201カ
2	女性を活用する国、しない国	竹信三恵子	岩波書店	1301リ
3	10代のうちに考えておくこと	香山リカ	岩波書店	2110カJ
4	女性経営者 100 人 人生を変えたことば	菅原智美/監修	カナリア書房	2206ヰ
5	子ども虐待	西澤哲	講談社	3211ニ
6	若さに勝る「中年力」30の習慣	米山公啓	講談社	4101ヨ
7	本を読むってけっこういいかも	香山リカ	七つ森書館	5101カ
8	佐野洋子対談集 人生のきほん	佐野洋子ほか	講談社	2110ナ
9	平塚らいてう 孫が語る素顔	奥村直史	平凡社	1203ナ
10	福島に生きる	玄侑宗久	双葉社	4208ゲ

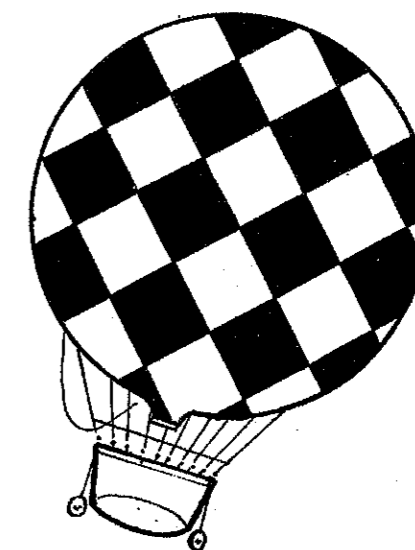
ライブラリー

散 歩 道

今月のテーマ

心の旅に出かけよう

—緑の風につつまれて—



編集後記
日増しに濃くなつていく緑が、雨に濡れて、深く落ち着いた美しさで心にしみ入ってきます。「散歩道」も四十五号を数えます。ふり返つてみるとこれまで紹介した本は相当数のぼりますが今回も六冊のすてきな本が仲間に加りました。尽きることのない本の魅力が溢れている図書室にどうぞおいでください。しばらく続く雨の季節に、読書というすばらしい行為はピタリです。さあ心の旅に出かけましょう。どうぞ、お健やかに過ごしてください。

利用ガイド

◎利用時間
9:00~20:00
(休館日前日9:00~17:00)

◎貸出冊数
本 5冊 15日以内
ビデオ 3本 8日以内
※どなたでも無料でご利用できます。
※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター図書だより作成ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

福島県男女共生センター「女と男の未来館」 TEL 0243-23-8308 (図書室直通)

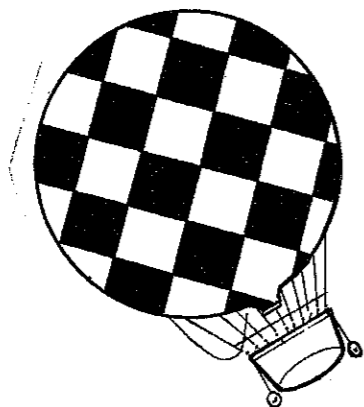
「夜行バスにのって」

ウルフ・スタルク/作 遠藤美紀/訳 楷成社

題名から旅行記を想像して何気なく手に取りました。ところが大違い。悲しくも切ない、そして楽しい父と息子とその周囲の人たちの物語なのです。シクステンという少年が主人公。両親は離婚、父親と二人で暮らしています。バスの運転手で不器用な父親の過剰なまでの愛情に困惑したり、息苦しくなったり、重荷に感じたりしながらも、親友やガールフレンドと力をあわせて、父親の幸せのために奔走する物語です。題名の由来は最後にわかります。素朴であたたかい絵もすてきです。父親のためにシクステンたちが仕組んだ大芝居。どんなものかは読んでのお楽しみ。

作者のウルフ・スタルクは現代スウェーデンを代表する児童文学作家で、この作品は映画化もされて話題を呼んだそうです。

(S. N.)



「60歳からの青春 18きっぷ」

芦原伸 新潮社

この本は「青春 18きっぷ」の使い方を指南してくれる新書である。鈍行列車専用で 5 回分で一枚のきっぷ。料金はこの時点で 11,500 円。4泊5日の旅でも、日帰りを 5回してもよく、5人一緒に一枚で使うことも出来、若者だけでなく年齢・性別に関係なく誰でも使える。途中待ち時間が多い時は特急列車を使っても元がとれる裏技も紹介。またテーマ別に分けて 50 のモデルコースを掲げ、旅への思いをかきたてるおすすめの本と思う。

30 年程前、馬籠(まごめ)、妻籠(つまご)にあこがれて中山道、木曾街道の「江戸」を歩くコースを経験したが、当時は乗り継ぎでロスが多く、路線バスは少なく、夏だったのでほこりまみれになっての旅であったが、宿場町で一泊した時飲んだ[七笑い]という日本酒は美味だった。このきっぷでもう一度旅を試みたいが、実現できれば望外の喜びである。

(K. K.)

明日香の旅に出かけました。

統一国家が成されたはるか昔、その中枢にあった板蓋宮跡、橋寺は聖徳太子誕生の地であり仏教伝来のモニュメントとして建てられたという。数々の天皇陵、蘇我一族の屋敷があった甘樫丘は見晴らしの良い高台にありました。渡来人が多く移り住んだ集落、その子孫の方達は今もしっかりと此の地に根づいて美しい自然と風習を守り続けて居られます。まだまだ続く息苦しい福島の地にあっしばし古代に遊んで心の疲れをいやすことができました。皆様もぜひ、心の旅、また本物の旅に出かけて新しい活力を育んでいってください。

「時代を生きる女性たち」

—新婦人しんぶん記者 40 年 北村玲子写真集—
北村玲子/著 丹野章/監修 草の根出版会

女性運動が産みだした写真家、北村玲子の作品集です。

旧満州での避難行の中で母を失い、後に現地で結婚、そして帰国。写真の世界にまだ女性が珍しかった時代から 40 年間、カメラを通して、平和と女性の地位向上を追及した写真集です。「平塚らいちょう」の豊かさたっぷりの笑顔や芭蕉布をつむぐ「おばあ」のしなやかな微笑み。時代の流れの中で、働き、歌い踊り、そして戦ってきた女達の表情から、エネルギーを貰えそうに思えました。

(A. K.)

「日本人の手紙 第七巻 旅先から」

紀田順一郎/監修 リブリオ出版

「天気です。時は春、京都は桃色」詩人中原中也の手紙の書き出しです。今回のテーマは紀行文や旅行分を読んでみましょうということで、同センターの図書棚を巡りました。このところ、はがきや手紙を書く手間を省き、携帯電話やパソコンで済ますことが多くなってきた自分に気づき、この本のタイトルに目が留まりました。本書に載っている 25 通の手紙は有名な作家が多く、旅先での日常の何気ないスケッチや四季折々の情景を家族や友人、先輩や恩師宛に送ったものです。一通の手紙から人生の味わい深さや日本語の美しさが伝わってきます。

(I. M.)

「くじけないで」

芝田トヨ 飛鳥新社

この本は発行された時 98 歳になっていた著者が、詩を書き始めた平成 15 年から平成 22 年までの作品を集めた処女詩集です。題名にひかれて手に取り、「くじけないで」という詩を読みました。飾らないことばで、おだやかに語りかけてくるような作品でした。42 編の詩はどれも短いことばのつながりながら、読み手に深い感動を与えてくれます。なかでも「先生に」という作品は思わず「うんうんさもありません」とひざを叩く思いでした。私たち女性のすてきな大先輩である著者の語りかけをぜひ心に留めてほしいと思いつつおすすめています。

(W. T.)



「わたしが海外生活で見つけたもの」

—女性 100 人の海外体験—
主婦の友インフォス情報社「海外留学」プロジェクト
主婦の友社

この本は、女性 100 人の海外体験をまとめたものです。訪れた国はアメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、オーストラリア、ニュージーランド、スリランカそしてフィリピンなど。

一人ひとりの目的もさまざまでしたが、そこで見つけた自分自身に向き合うことができたのではないだろうか。語学留学、資格取得が目的の人もいれば、単に団体での旅行という方もいました。でも、現地での人と人のふれ合いがその目的達成に大いに力になっていく点は、皆さんに共通していることでした。

本の中で、海外生活マニュアルや用語解説も紹介されているので参考になると思いました。

風景や出会った人たちとの写真を見ながら、私も訪れた気分になり、幸せをわけていただきました。

(T. Y.)

☆図書室から本の紹介をします☆

福島県男女共生センター図書室だより

第 46 号
2012. 9. 20

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	べてるの家の恋愛大研究	浦河べてるの家	大月書店	4103ウ
2	内部被曝の真実	児玉龍彦	幻冬舎	4207コ
3	詩の邂逅	和合亮一	朝日新聞出版	6102ワ
4	老前整理 捨てれば心も暮らしも軽くなる	坂岡洋子	徳間書店	4101サ
5	悲しみの中にいる、あなたへの処方箋	垣添忠生	新潮社	5101カ
6	福島原発の真実	佐藤栄佐久	平凡社	2102サ
7	女は後半からがおもしろい	坂東眞理子 上野千鶴子	潮出版社	2110バ
8	事実婚 新しい愛の形	渡辺淳一	集英社	3101ワ
9	「あの日」に生まれてきた命 宮城、福島で命をはぐくむお母さんの奇跡	鮫島浩二/監修	アспект	3205ア
10	福島県民 23 人の声 3.11 大震災と原発を乗り越えて	武田悦江	歴史春秋出版	4208タ

ライブラリー

散 歩 道

利用ガイド

- ◎利用時間
9:00~20:00
(休館日前日 9:00~17:00)
- ◎貸出冊数
本 5冊 15日以内
ビデオ 3本 8日以内
- ※どなたでも無料でご利用できます。
- ※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

編集後記
すずきが揺れ赤とんぼが飛び、一雨ごとにやまと秋の気配が感じられる今日このごろですが、今年の夏は本当に暑く、毎日「今日も暑いですー」があいさつでした。ゴーヤや朝顔などのグリーンシヤワーや、出かける時には帽子にペットボトルと皆さん暑さ対策も色々工夫していた様です。
節電の折、暑い日にクーラーをつけた部屋で一人、本を読むのは少し気がひけましたが、これからは好きな時間に、好きな場所で本を読む事が出来る季節となりました。
行楽の秋、温泉もいのですが、本をひろげ心の旅に出掛けませんか。

今月のテーマ

心の旅に出かけよう

—秋風にページをめくらせて—



発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター図書だより作成ボランティア
図書室へのお問い合わせは
〒964-0904 二本松市郭内一丁目 196-1
福島県男女共生センター「女と男の未来館」 ☎ 0243-23-8308 (図書室直通)

分類番号 2113 オ

「おんな独り アフガニスタン決死行」

岡崎漢子 アルファポリス

東洋史研究者で「初期仏教の研究」が研究テーマだという著者のパキスタン・アフガニスタン旅行記です。一般的なメディアとは、違う角度から見たアフガニスタン事情でしょうか。カブール、ジャララハード？ 聞いたことが！ ここはシルク・ロードでもあったっけ等々。そして、タリバン。いまだ紛争の地です。シリアで不慮の死を遂げた女性ジャーナリストの記憶が生々しいなか、それでも「この本を誇り高いアフガン国民に捧げます」と献呈の辞を書いた著者の心を思いました。(A. K.)

分類番号 2110 タ

「ココロのしずく」

たかはしたかこ 武田出版

「ココロのしずく」はカウンセラーである著者がブログに書き綴ってきた「たかちゃんのひとり言」というつぶやきを原稿用紙に文字を書き写し、推敲しながら自分の心の乗を形にしたものです。

私はこの本に共感する事がとても多く、1ページ読むごとに今までの自分を振り返ってみたり、自分の心の中を覗いてみたり、心の中で会話をしたり、心の中で旅をするようにゆっくり、ゆっくり読み進めていきました。

あなたは頑張りすぎていませんか、毎日に流されていませんか、あなたも心の旅をして、自分の心を乗でいっぱいにしてみませんか。(K. M.)

分類番号 6102 ア

「九十九歳の恋うた」

秋山ちえ子 岩波書店

この本はエッセイストである著者が、テレビ・ラジオのリポーターやコメンターとして活躍中に接した多くの人達の生き方に共感し、紹介しようと思われた小説風の短編集です。ウソ半分、ホント半分のエッセイストと著者は述べていますが、七編の物語はそれぞれに問題をかかえながら人生を生き抜く人間の知恵とでも言うようなものが込められております。

「明日は明日の風が吹く」「すべてはなるようにしかならない。でも、なるようになっていくもの」と。これを読むことでふと立ち止まって考えるきっかけをつかんでほしい、著者はそう願っております。旅の途中の一服ということでしょうか、おすすすめです。(W. T.)

たくさんの乗物を使い継いで遠くまで旅にでかけるのは、時間とお金があればできません。しかしちょっとこの図書室に来る、共生センターで行事があったついでにでも寄ってみるというのはどうでしょうか。ここに紹介した本をはじめ、たくさんの書物が待っています。心は、いったん本にはいりこめばどんな世界にでも旅をすることができます。人生、大切なのは想像力、本の中に精神を自由に遊ばせて、大いに想像力を養いましょう。折しも読書の秋、熱い紅茶でもかたわらに。

分類番号 2113 カ

「ナン香るイランから」

川地恵理子 三修社

昔、ペルシアと呼ばれたイラン。アラビアンナイトの世界に憧れたこともあったっけ。「世界が四つの国であったとき」とか「緑のイラン」等々。イランの人々の暮らしが、著者自身の素敵なイラストで紹介されている。イランの人々の生活や考え方が、小さな日常のあれこれを通して語られている。あとがきを見ると2000年7月。紛争の絶えない昨今の中近東を考えながら、平和が大事と痛感している。(A. K.)

分類番号 4103 カ

「旅、あきらめない—高齢でも、障がいがあっても—」

鎌田賢 講談社

著者は医師。病院勤務医として地域医療に携わり、その当時の著書に「がんばらない」がある。その後自由に働くために契約医師になって国内外で活躍しているが、この本はバリアフリーのボランティアをすることで、高齢者が障がいがあってもその人なりの方法を探して旅を応援している。旅には病気を回復させる力がある。人生を変える不思議な力があると。旅好きの人がもう出かけられないと思っても、この本に出会ってみたらどうであろうか、元気ももらっている事例がたくさん載っている。特別付録には、あきらめないで旅するためのガイド「安心して、安全、あるがままに、そして便利に」がついており、極上の本としておすすすめしたい。(K. K.)

分類番号 2113 ヤ

「slow & ecology style 地図を片手に『歩く旅』」

山浦正昭 日本放送出版協会

著者は日本ユースホテル協会で青少年の野外旅行の研究指導後、フリーとなった。オンフットワークの代表として歩く旅人の支援活動に取り組んでいる。有名な名所観光やグルメ中心の旅行などを楽しんだ後、これまでとは違った観点から「歩く旅」の魅力を紹介している。私も旅行という旅行会社のパンフレットを何冊も見ながら、景色が美しい観光地だったり、食事に重きを置いて選んだりしていたのである。

「二万五千分の一地形図片手に、まずは近所の魅力を再発見する旅から始めませんか。ゆっくりと一歩一歩、ガイドブックにはないあなただけの道を見つけ、もっと自由で新しい旅の形を発見してください」と著者が話す内容に、思わず納得してしまった。景色をゆっくり見ながら旅を楽しみたいものですね。(T. Y.)



分類番号 6104 ア

「親子で訪ねる美術館」

青柳正規 大原美術館監修 クレオ発行

涼を求めて美術館にでも旅してみたいと思いました。「親子で訪ねる美術館」は倉敷市にある大原美術館。3000点を越える所蔵品を誇る日本最初の西洋近代美術館です。この本では多様なまなざしに耐えることのできるすぐれた作品の中から14点の絵画が取り上げられています。「絵を見ることは、すてきな楽しい時間の過ごし方。もしどうやって絵を見てよいかわからない時は、この本に書かれているような質問をあなた自身にしてみてください」と著者は言っています。

たとえば、私の好きな画家のひとりであるクロード・モネの描いた「睡蓮」の絵については、

Q: 池の水面が青や紫だけでなく、白く塗られているのはなぜでしょうか？

Q: 睡蓮の花はどんな色で描かれていますか？

Q: この絵を見ているとどんな気持ちになりますか？

など、一人ひとりが自分の見方で感じてほしいと…。

ぜひ、近く美術館や博物館などに友だち、親子などで出かけませんか。秋の訪れを待ちながら…。(I. M.)

☆図書室から本の紹介をします☆

福島県男女共生センター図書室だより

第47号
2012. 12. 20

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	人生やり直し読本 心の涸れた大人のために	柳田邦男	新潮社	2110㍻
2	姑の言い分嫁の言い分	今井美沙子	作品社	3204イ
3	陽だまりの時間	大平光代	中央公論新社	6102㍺
4	小山明子のしあわせ日和 大島渚と歩んだ五十年	小山明子	清流出版	1202J
5	グッドバイバタフライ	森英恵	文藝春秋	1202E
6	悩みも苦しみもメッタ斬り!	美輪明宏	家の光協会	2110ミ
7	今、そこにある苦悩からの脱出	齋藤孝	KKRのぐてらす	2204㍻
8	小さな教室、はじめました 人気教室のオーナーに教えてもらう「通いたくなる教室の作り方」	竹村真奈	翔泳社	2206㍻
9	くじけないで	柴田トヨ	飛鳥新社	6102㍻
10	福祉系NPOのすすめ 実践からのメッセージ	守本友美ほか	ミネルヴァ書房	71047

ライブラリー

散 歩 道

今月のテーマ

「からだの健康、こころの健康」

— 幸せの見つけかた —



編集後記

木枯らしが足早にやってきて雪化粧。鍋ものが恋しい季節になりました。今、日本でいちばん安全に気を使っているのは、福島産の食品です。と食のフェアで大声でがんばる生産者たち。また、福島の農業―未来の「食」を担う農業科の高校生たちが合唱の交流を通して「力を合わせていこう」と誓い合う催しなど、復興への力強い様子を伝えている新聞の記事が目が留まりました。もう師走ですね、お元気で。

利用ガイド

- ◎利用時間
9:00~20:00
(休館日前日9:00~17:00)
- ◎貸出冊数
本 5冊 15日以内
ビデオ 3本 8日以内
- ※どなたでも無料でご利用できます。
- ※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター図書だより作成ボランティア
図書室へのお問い合わせは
〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1
福島県男女共生センター「女と男の未来館」 TEL. 0243-23-8308 (図書室直通)

「他人の何気ない一言に助けられました。」

—「発言小町」300万人が泣いた魔法の言葉—

大手小町編集部編 中央公論社

この本は読売新聞社が運営するインターネットの女性向けサイト「大手小町」の掲示板「発言小町」に投稿された何気ない一言を集めたものです。「発言小町」には恋の痛手、職場の愚痴、健康や美容などについて本音で悩みつらく悲しい時に、他人のその一言で救われ、「心が洗われる気分になった。」“涙が滲んできた。”“しんどい私を助けてくれるみたい。”と前向きにさせてくれる宝石のような一言が述べられており、読む人に共感と感動が伝わってきます。私たちのまわりでも、良い事言ってくれたわ、そうしてみるわ、ありがとう、と思う瞬間がありますよね。気落ちし、ふと心にすき間が出来た時、お手にとってみてください。その一言にやさしさといたわりがあり、きっと癒されますよ。

(K. K.)



分類番号 61087

「ふるさと一少年の読本」

島崎藤村 絵・北島新平 ネット武蔵野

通信機器の高度な発達によって、子供から大人までそれに振り回され、じっくり人の話を聞いたり、時間をかけて読書にふけたりということが少なくなっているように思います。この本はお話を聞くという行為と読書とを同時に体験できるすばらしい作品です。島崎藤村の児童文学書の1つです。木曾で生まれ育った藤村(本の中では父さん)が、子供たちに自分の小さい時のことや、そのころに遊び回った山や林のお話を語り聞かせるという構成で、素朴であたたかい短いお話が70話も語られています。語り手の父さんの穏やかでいいいな言葉使いと語り口が何とも言えない魅力で、藤村の深い声(聞いたことはありませんが)、心に響いてくるようです。めまぐるしい現代にあっても、こんな物語に接することが心身の健康を育むのだろうと思わせてくれます。「少年の読本」と副題がついていますが、大人の心の栄養剤としておすすめしたい本です。

(S. N.)

今号は「からだの健康、こころの健康」をテーマに7冊の本を選びました。震災後ジワジワと狭まるような眼に見えない壁。心にも体にも降り積もってくるような放射能のかけ。負けないぞ!と声をあげるにも少々疲れとむなしさを感じるこの頃です。でも、今年の福島は山々も里も色鮮やかな紅葉に彩られました。黄色や紅の木々の中を歩いていると、「さあ、元気におなり」と声が聞こえるようです。これらの木から少し元気をもらって、また前に進もうと思います。

分類番号 32127

「相田みつを いのちのことば」

—育てたように子は育つ—

相田みつを 書 佐々木正美 著 小学館

書家であり、詩人である相田みつをの作品は、ほのぼのとした優しさと慈愛に満ちた温かさ、そして邪心のない力強さに溢れ、その作品に触れれば濁いた心が癒されるもので、誰もが一度は目にした事がある事だと思います。この書はその相田みつをの書に精神科医である著者の思索が一緒になった一冊です。著者は相田さんの詩は解釈がいらぬ詩だと思っています。本書は詩の解説本ではありません。従来にない子育ての本と言った方が正しいのかもしれないと話していらっやいました。「つまづいたっていいじゃないか、人間だもの」子育てに限らず、本書を読む事によりまた違う明日が見えてくる一冊のように思います。(K. M.)

分類番号 21117

「生きて死ぬ智慧」

文・柳澤佳子 画・堀文子 英訳・リービ英雄 小学館

柳澤佳子は、とても優秀な科学者で、マウスを使った発生学において世界に先駆ける成果を残すも、原因不明の難病に苦しんだ。病気が特定されるまで30数年、息づまるほどの病苦とのたたかいを経て、奇跡的に治療薬が功を奏し小康を得た。今、生命科学者、サイエンスライターとして病床から書き続けている。

本書は、「般若心経」の彼女なりの現代詩訳である。「ひととはなぜ苦しむのでしょうか・・・」と。全部はとてもわからない。でも、堀文子の画ともども、ひとつの言葉、ひとつの文章・・・が心に残る。

50ページ余りの小冊子だが、「いのちを励ましてくれる、より大きないのちの源からの声。」を読みとろうと思った。できれば、同じ著者の「いのちの日記」もおすすめしたい。(A. K.)

「日本百名山ビジュアル登山ガイド」(上下)

朝日新聞社編 朝日新聞社

本書は、朝日新聞社が発行した「週刊 日本百名山」全50巻に収録された記事、写真、情報を元に、コンパクトに編集・製作されたものです。北海道から九州までの日本百名山を上下の2巻で紹介しています。例えば、吾妻山について「高原状のだらかな山頂部をもつ吾妻連峰の稜線には、素晴らしい世界が広がっている・・・」で始まる。写真、お勧めコースの紹介と見所。花ガイドや温泉も写真付なので、見ても飽きない。どこかに行きたいか迷っている方、百名山に興味のある方やない方も素晴らしい景色に触れてみませんか。(T. Y.)

分類番号 42047

「図書館に行ってくるよ」

—シニア世代のライフワーク探し—

近江哲史 日外アソシエーツ

「ちょっと図書館に出かけるよ」と言って気軽に図書館へ・・・。定年退職した筆者は、自宅近くの公立図書館をしばしば訪れるようになり、図書館の使い方を考えてみようと思いついたとあります。第一章「ひまつぶしに出掛ける」から第六章「あらゆる市民層へ」まで、日本全国の図書館とのつき合い方のあれこれが語られています。学校での朝の読書運動をヒントに全国民を対象に皆「10分間読書人」に仕立て上げようという一案にはグットアイデアと共感をおぼえました。そして共生センターの図書館をいつでも利用できる私たちにとって「ライブラリー散歩道」の編集はライフワークのひとつに入るのかも・・・。(I. M.)

分類番号 4103A

「日本一へたな歌手」

—亡き母との約束を胸に、命尽きるまで紅白を目指す—

濱田朝美 光文社

健康には身体の健康と心の健康があります。著者濱田さんは24時間完全介護が必要な27歳の障害者です。身体障害のほかに言語障害もあります。そして、原因不明のこの難病が今も少しずつ進行しているのです。彼女の生い立ち、周囲の人達とのかわり、身体障害者への偏見、彼女の夢・・・。どうしてこんなに明るいのでしょうか。沢山の人達に支えられ明るく路上ライブを続けている彼女はこの本の最後でこんなふう書いて居ります。「この本が夢を追うすべての人の希望になりますように」。「フクシマ」に住む私達も有形無形の差別を受け続けていますが、心の健康はしっかり保っていききたいですね。(W. T.)

ライブラリー

散 歩 道

今月のテーマ

生きる力、見つけて

—あの日から、2年—



「フラガール 3.11」—つながる絆—

清水一利 講談社

映画「フラガール」の大ヒットがまだ記憶にあり、東日本大震災後、原発事故後の「ふくしま」復興をめざすフラガールの活躍ぶりも話題になりました。かつて石炭から石油へのエネルギー革命によって閉山の危機に見まわれた炭鉱とその家族たちを救うために立ち上がった初代フラガールたち。その後46年の時を越え、現代のフラガールたちはこの震災・事故をどのように受け止め、対処し、スパリゾートハワイアンズを再興するに到ったのかの物語です。筆者は3月11日取材でハワイアンズの施設の中においてほかの被災者と共に3月13日まで寝食をともにした体験とその後の聞き取りなどにもとづいて書いています。首都圏を中心にして宿泊客617名を東京駅まで、宮城県石巻からの一家族を非難先へ一刻でも早く、無事に届けたいとの思いでハワイアンズで働く人たちの奮闘が始まります。(I. M.)



「台所防災術」—がんばらなくても大丈夫—

坂本廣子・坂本佳奈 農文協

この本は阪神・淡路大震災で被災した親子が、いま必要な暮らしの備えを台所目線でまとめたものである。災害が起きた時に命を守るために必要な備えは、普段の暮らしの中で身につけておくことこそが大切であり、あまり肩ひじ張らずに実行出来る防災の知恵が写真とイラストで、たくさんつまっている本と思う。空き缶とローソクで「アルミ缶ランプ」をつくる、折紙の要領で器をつくり、ラップやアルミホイルを敷いて食器として使い、お料理が盛られている写真はとてもおいしそうに見える。また、日常の中に非日常的なことをわざとつくってみて、電気やガス、水道を使わないで暮す。常備している食品を食べてみるなどで更に防災の意識を高めることが出来るのではないだろうか。おすすめの一冊。(K. K.)

「老いてこそ上機嫌」

田辺聖子 海竜社

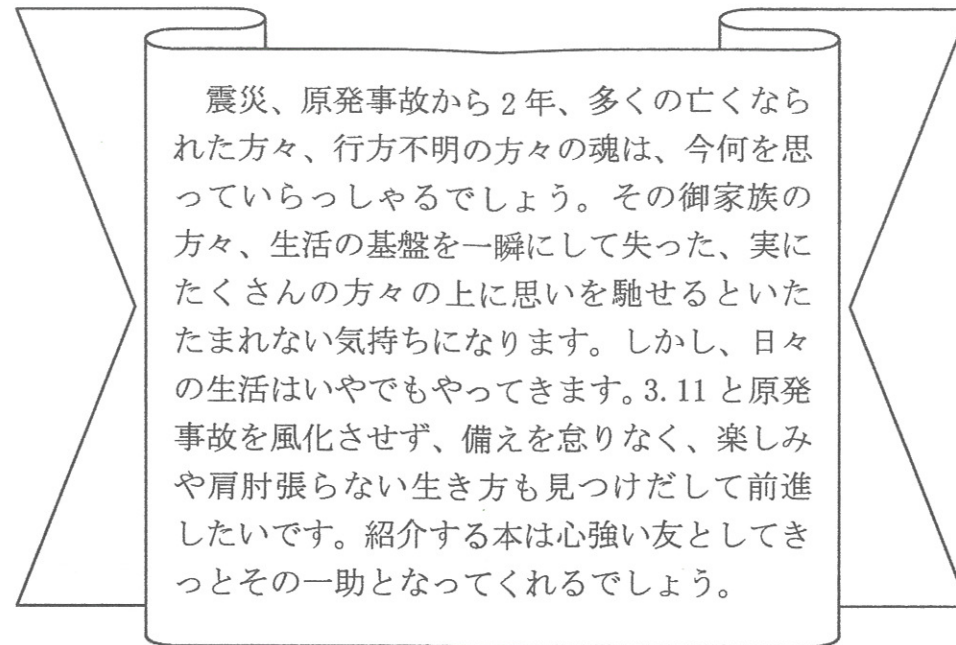
私はこの著者が好きです。ほんわかした文体でいつの間にか内容に引き込まれ共感し納得してしまう。この本はそんな著者の作品の中から、人が、特に年輪を重ねつつある女性が生きて行く上での灯(あかり)のようなことばの数々が抜き出されて載っています。その中の一つに「人生は乗り換えの多い旅」ということばがありました。今まで出来たことが出来なくなった、なかなか能率があがらなくなった。これは乗り換え時、要求水準を今よりちょっと変えて歩くことで楽になると説いているようでした。また、「子どもをもたぬ楽しみ」などという節もありました。ええっと思いますよね。どんな楽しみなのでしょう。たくさんのことばの中から今のご自分の道標になるものをぜひ見つけてほしいと思いました。(W. T.)



「台所防災術」—がんばらなくても大丈夫—

坂本廣子・坂本佳奈 農文協

阪神・淡路大震災で被災した料理研究家親子が台所目線からまとめた防災術を紹介しています。「がんばらない防災」とは、普段の暮らしが自然と備えになっていることと教えてくれます。命を守るライフセービングのために何が必要か。福島に住む私たちも東日本大震災で経験してきたのではないのでしょうか。ライフラインのありがたさも本当に感じました。「もっとこれを準備しておけばよかった」「これがあって助かった」など、一人ひとりが感じたと思います。著者は台所目線から寝る前には枕元にすぐに持って出られるハンドバックを置く。この中には財布や印鑑、マスクやひも、飴玉など緊急時に役立つものを入れておきます。電気が復旧するまでの食事術にはアイデアがいっぱい、普段から身につけておけばいざと言う時困りません、省エネクッキングにもなります。買い物難民という言葉があります。毎日の食料品を買いに行くのが大変になっている人達のことです。近くにお店がなくなって車で遠くのショッピングセンターまで行かないと食材が手に入らない地域もあります。非常時には近くで手に入るような仕組みがもたられることでしょう。(T. Y.)



震災、原発事故から2年、多くの亡くなられた方々、行方不明の方々の魂は、今何を思っているでしょう。その御家族の方々、生活の基盤を一瞬にして失った、実にたくさんの方々の上に思いを馳せるといたたまれない気持ちになります。しかし、日々の生活はいやでもやってきます。3.11と原発事故を風化させず、備えを怠りなく、楽しみや肩肘張らない生き方も見つけて進みたい。紹介する本は心強い友としてきっとその一助となってくれるでしょう。

「みえないばくだん」

たかはしよしこ・文 かとうはやと・絵 小学館

大震災、原発事故から2年の歳月が経過しました。悲しみ、苦しみ、心の深い傷は少しも癒えたようには思えません。特に原発事故を否応なく抱えこんでしまった福島に住んでいる私たちの苦悩は、いつ果てるともいけません。みえないばくだん=放射線の脅威は私たちの生活の上に常に暗雲のようにたれこめています。しかしその原発事故でさえ風化しそうな兆しのある今、この絵本、舌足らずの表現や極端すぎる表現もありますが、一度手に取って、自分は原発に対してどういう態度をとるのか改めて考えるひとつの材料にできるのではないかと思います。そういう意味でおすすめしたい本です。(S. N.)

「おんな独り アフガニスタン決死行」

岡崎溪子 アルファポリス

東洋史研究者で「初期仏教の研究」が研究テーマだという著者のパキスタン・アフガニスタン旅行記です。一般的なメディアとは、違う角度から見たアフガニスタン事情でしょうか。カブール、ジャララバード? 聞いた事がある。ここはシルクロードでもあったっけ等々。そしてタリバン。いまだ紛争の地です。シリアで不慮の死を遂げた女性ジャーナリストや、教育の必要を訴えた少女への銃撃などの記憶が生々しいなか、それでも「この本を誇り高いアフガンの国民に捧げます」と献呈の辞を書いた著者の心を思いました。(A. K.)



☆図書室から本の紹介をします☆

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	新島八重	鶴賀イチ／文 紺野ヒデヒロ／画	歴史春秋出版	J1203ツ
2	プロメテウスの罫 明かされなかった福島原発事故の真実	朝日新聞特別報道部	学研パブリッシング	4207ア
3	女たちの3・11 変わらなきゃ、ニッポン！ それでも、私は命を繋いでいく。	坂田雅子ほか	オフィスエム	1101カ
4	悩むヒマありゃ、動きなさいよ！ 死ぬまで現役、90歳！！	内海桂子	牧野出版	2110ウ
5	3・11から考える「家族」 戦後を問う、現在を歩く	真鍋弘樹	岩波書店	3201マ
6	内部被曝	肥田舜太郎	扶桑社	5104ヒ
7	災害復興 東日本大震災後の日本社会の在り方を問う 女性こそ主演に！	日本弁護士連合会	日本加除出版	1101サ
8	新島八重の生涯 歴史物語 幕末のジャンヌ・ダルク	吉村康	歴史春秋出版	1203エ
9	放射能に克つ農の営み ふくしまから希望の復興へ	菅野正寿・長谷川浩	コモンズ	2114入
10	働く女子の夢 26人の働き方、夢、なりたい自分	日本ドリームプロジェクト	いろは出版	2205ハ

利用ガイド

◎利用時間

9:00~20:00

(休館日 前日 9:00~17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

編集後記

東日本大震災から二年が過ぎました。ガレキの処理も少しずつ進み、復興の兆しもあちらこちらから伝えられるようになりました。

しかし、原発事故の影響はどうなのでしょう。二年がたっても不安や不信がジワッと広がるなか、少しでも気持ちをとときほぐせればと思いつつ、いろいろなジャンルの本を選びました。

此の春も、きっと、花々は咲きます。

発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター図書だより作成ボランティア
図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

福島県男女共生センター「女と男の未来館」 TEL 0243-23-8308 (図書室直通)

ライブラリー

散 歩 道

今月のテーマ

さまざまな道

—意志を貫いた人—



分類番号 4101 A

「死にゆく者の礼儀」

遙 洋子 筑摩書房

著者の紹介には、タレント・作家とある。深刻なテーマでも明るく騒々しいとさえ感じるTV番組の司会などで、その存在は知っていた。その経験などが作家としての視野を広げ、たくさんの心にひびく著書をあらわしたのだろう。

この本は両親の最期に至るまでの十数年間を書いたものである。我がままで病を得ても好き勝手に生きてきた両親。この両親の一生を終えてから見えてくるものは、自分の老いにしっかり気づき、人生をいとおしみながら生きることだが、健康でも好きに生きるのは難しい、老いて好きに一生を終えるのはもっと難しいとある。“礼儀”をどうとらえるかは、残る家族への思いやりにつけるのではないだろうか。(K. K.)

分類番号 1203 I

「母・住井すゑの横顔」

犬田章 大和書房

小学生の頃、家の蔵にあった本棚の中から「母」という題の本を見つけて読んだことがあります。振りがな付きの本は容易に読むことができましたが、その中にあった“新平民”ということばが深く心に残りました。おぼろげながら人への差別だということがわかりました。後に、「破戒」や「橋のない川」を読んで、日本社会の中にあった人への差別の現実を知りました。「橋のない川」を書いた住井すゑという人はどんな人だったのだろうか知りたいと思ってこの本を読みました。“すべての人間の平等”を生涯のテーマとして天下に説き続けた彼女は95歳で亡くなるまで、自分の思い通りに生きてようです。著者の目から見た母親としての住井すゑを知って、もう一度、「橋のない川」全編をじっくり読んでみたいと思いました。(W. T.)

分類番号 1203 K

「扉を開いたひと 美しいほど強情に自分を生きた51人」

田中弘子 三五館

緋いろ、真白、群青いろ、向日葵いろ、草いろの五色の扉に分けられた女性たちが、それを押し開けて一歩を踏み出し、世界でひとかど以上のことを成した合計51人。全体で170ページほどの本だから、一人にされているのは3~4ページ。しかしその人の核心が紹介されています。超有名な人、名前は知っている人、全く知らなかった人いろいろですが、激しい毀誉褒貶(きよほうへん)の中で壮絶な自分だけの人生を生きた女性たちに圧倒されます。誰かピンとくる生き方の女性がいたらその人についてより詳しく知るのもいいですし、こんな人がいたんだ!と知るだけでもすばらしいと思います。どんな人が登場しているのかは読んでのお楽しみ。(S. N.)

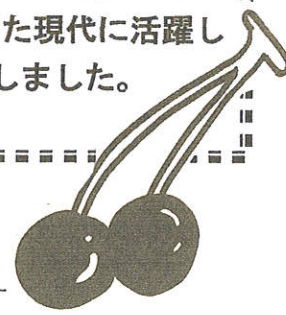
分類番号 6102 7

「ちひろ美術館物語」

松本由理子 講談社

淡い色彩のなかで子どものむじゃきな安心しきった笑みに、いとおしい目で見つめる母親。でも子どもの目は時には不安におびえる眼差しに変わる。画家いわさきちひろの絵には、人の心をやさしく包み込み、勇気を与えてくれる不思議な力があります。この物語は「ちひろ」の息子である松本猛の嫁にあたる著者が夫とともに「ちひろ」の心を伝えたいと「ちひろ」の死を惜しむ声に押されて、美術館づくりの夢を実現させていくところから始まります。1977年開館の時の館長は飯沢匡さん、現在は黒柳徹子さん、館長さん選びの時のお二人についてのエピソード(人柄など)にも触れることができ、「ちひろ」の想いがかなってると納得できます。35年以上も経つ美術館の歴史と8000点に及ぶ作品や資料の保存、全国各地で開催される展示会の準備など子育てと同時進行していく生活の様子は働く女性の生き方のヒントにもなるのではないのでしょうか。ちょっと疲れを感じた時、平和を願う「ちひろ」のやさしい絵を思い出してみてください。(I. M.)

=====
六月は梅雨の季節、うっとりしい空模様の中に女性の人権を蹂躪するような発言がマスコミに取り上げられて居ります。男女共生の大切さがしっかりと認識されつつある現在、私達はもう一度、人権も守る憲法の大切さ、そして今までの歴史を学ぶ大切さを強く感じます。今回の散歩道は50号発行を前に、先人の、また現代に活躍している女性たちの生き方を探してみようと思い選書しました。
=====



分類番号 1202 J

「1945年のクリスマス」

—日本国憲法に「男女平等」を書いた女性の自伝—
ベアテ・シロタ・ゴードン 平岡磨紀子(構成・文) 柏書房

1945年12月24日、ベアテさんはプロペラ機で厚木基地に降り立った。次の日は「クリスマス」だった。日本国敗戦の年、アメリカ国籍を持ち連合軍総司令部GHQの職員として再来日を果たしたベアテさんが日本女性に贈ったプレゼントとは……。これはトップシークレットであった日本国憲法草案にたずさわった秘話を明かした本である。当時22歳のベアテさんは人権条項作成のメンバーとして、「女性の権利」、男女平等の精神を盛りこむことができた。「女性が幸せにならなければ日本は平和にならないと思った。」と語るベアテさんが、娘時代を日本で生活した経験がいかされたものになった。「女性が自立し、仕事を持ち女性の権利の獲得のために闘い続ける勇気を持っていただくこと、男性はそういう女性を支えてくださいますように……。高い理想をかかげた日本国憲法はすばらしいと思っています。」というメッセージから始まる本を手にして、「日本国憲法」を身近に感じた。改憲論議が浮上してきたこの時期「日本は平和で人権が守られているか」をしっかりと考え行動したいと思った。(S. S.)

分類番号 6102 9

「くじけないで」

柴田トヨ 飛鳥新社

「私をおばあちゃんと呼ばないで、『今日は何曜日?』『9+9は幾つ?』そんなバカな質問をしないでほしい。『柴田さん西条八十の詩は好きですか?小泉内閣をどう思います?』こんな質問ならうれしいわ。私はこの「先生に」という詩が大好きです。この詩集は産経新聞「朝の詩」に掲載された35点と下野新聞に掲載された3作品を収録したものです。

百歳になろうとしているトヨさんですが、上記の詩のようにとてもみずみずしい感性をお持ちです。そして、人生、いつだってこれから、だれにも朝はかならずやってくる、と話されているように、とてもポジティブです。私も日々、トヨさんのように生きて行こうと思える一冊です。(K. M.)

分類番号 1201 JK

「ふくしまに生きた女性たち」

小林滯子 歴史春秋社

今年はNHK大河ドラマの「八重の桜」が放送され、福島県は県外から注目されています。県外出身の私は、教科書で習った知識くらいしかなかったのととても新鮮です。そんな時、福島県には歴史を担った女性が数多くいたことをこの本で知りました。

近代日本の社会福祉運動の先駆者である瓜生岩さん、女性初の翻訳家・若松賤子さん、日本初の救急の女医・服部ケサさん、自然主義女流作家の水野仙子さん、アフターケア施設づくりの運動に取り組んだ小林美代子さん、そして山間部の開拓農婦として生きた吉野せいさんの6人です。厳しい時代の中で開拓していった彼女達の足跡を知るとは、豊かな時代を生きる私たちにたくさんのことを教えてくれると思いました。(T. Y.)

分類番号 1203 K

「絵筆は語る 自分色を生きた女たち」

堀尾真紀子 清流出版

情熱の赤、解放の青、思索の白、受容の紫と、各々を自分の色として生きた8人の女たちの物語です。

赤は、メキシコの大地で、肉体の苦痛と心の渇きのうちに47年生きたフリーダ・カーロ。あまりに強烈なフリーダの絵に、思わずだじろいだことを思い出し、彼女の赤の点々の幾つかを欲しいと思いました。出来ないからですが。

柔らかな心を持ち続けた画家いわさきちひろ、80才近くになって描きはじめてのグランマア・モーゼス、「国を守るための戦い」という美辞のもと、二度の大戦で、息子、孫を「犠牲死」させたドイツのケーテ。彼女達は何色でしょうか。それぞれの人から少しずつ色をもらって、日々生きていってはどうでしょうか。(A. K.)

☆図書室から本の紹介をします☆

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	シェアハウス わたしたちが他人と住む理由	阿部珠恵 茂原奈央美	辰巳出版	4201 ア
2	ひきこもりのライフプラン 「親亡き後」をどうするか	齋藤環 畠中雅子	岩波書店	3210 サ
3	フランス女性はなぜ結婚しないで子どもを産むのか	井上たか子	勁草書房	3103 イ
4	災害支援に女性の視点を！	竹信三恵子 赤石千衣子／編	岩波書店	1101 サ
5	ヒーローを待っていても世界は変わらない	湯浅誠	朝日新聞出版	2106 ユ
6	働く女子の夢 26人の働き方、夢、なりたい自分	日本ドリーム プロジェクト	いろは出版	2205 ハ
7	あの日からのお母さんのしごと わが子を放射能から守る知恵と工夫	境野米子	ワニ・プラス	4203 サ
8	さよなら、お母さん 墓守娘が決断する時	信田さよ子	春秋社	5101 ノ
9	「女子」の時代！	馬場伸彦 池田太臣	青弓社	1101 バ
10	明日もある。あさってもある！ 84歳のラジオパーソナリティ	二宮チエ	イ・オ・プ・リ	1202 ニ

利用ガイド

◎利用時間

9:00~20:00

(休館日 前日 9:00~17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

編集後記

今年五月に入ってから寒暖の差が激しく不順な天候が続きましたが、いまは万緑の候、田んぼの稲もだいぶ育ってきました。

さて、四十九号ができました。今号からフアイトあふれる新人、SSさんをメンバーに加え図書だより作成ボランティアも八名になりました。私達一同これからも更に社会の、地域の情報に目を向け、耳を傾けよう良い情報紙の作成に取り組んで参りたいと思っております。次号五十号にもどうぞご期待下さいませ。

発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター図書だより作成ボランティア
図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目 196-1

福島県男女共生センター「女と男の未来館」 TEL 0243-23-8308 (図書室直通)

福島県男女共生センター図書室だより

第 50号
2013. 9. 20

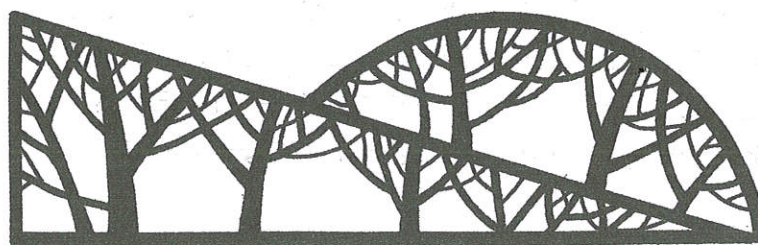
ライブラリー

散 歩 道

今月のテーマ

共に歩んで50号

—本があり、仲間があり—



分類番号 6102 ム

「愛という字」 向田邦子 文春文庫

昭和はやや遠くなりけり・・・と感じつつ。今回は 1929 年 (S.4) 生まれ、1981 年まで放送作家、短編小説家などとして活躍し、昭和の庶民の哀歓を綴った向田邦子の作品の中から選びました。好奇心が強く、観察眼が鋭かったと伝えられている作家は日常の中での巡り合い、すれ違うゆきずりの人のささやかなドラマを優しい目で捉えています。「愛という字」は当共生センター図書室にあった、たった一冊の向田邦子原作の文庫本の中のもので。内容は、意外なきっかけで知り合った魅力的な男の出現に揺れる微妙な女心が描かれています。向田作品の多くは、家族の人間模様一親子・夫婦・兄弟・また友人などのその時代に生きてきた日本人達が浮き彫りにされ、なつかしく、愛おしさまで感じられます。(I. M.)

分類番号 6108 シ

「ぼくを探しに」 シェル・シルヴァスタイン/作 倉橋由美子/訳 講談社

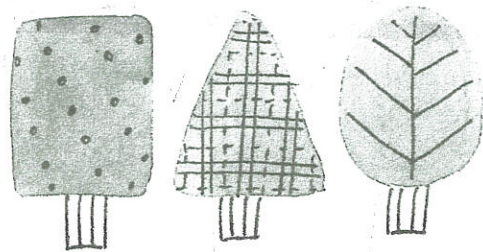
「何かが足りない、それでぼくは楽しくない。足りないかけらを探しに行く」と、歌いながら、足りないかけらを探す旅を続けるぼく。とうとう「かけら」を見つけ、ぴったり丸になったら、楽しくないのに気がつくのです!

とても簡単に読める絵本のような本ですが、「足りないかけら」を探して探して、満たされたら、もう楽しくないというメッセージはいろいろ解釈できますが、訳者の倉橋由美子は自由にと、大人には、単純な童話が必要だと言います。私の missing piece は何かしら、と考えるのも良いかもしれませぬ。絵は著者の作です。ぜひ、お楽しみください。(A. K.)

分類番号 4209 オ

「フットワーク軽くボランティア」 小山内美江子 家の光協会

この本は、第 22 号で紹介したのですが、50 号を作成するに当たってもう一度ボランティアの基本精神って何かなとふり返ってみる意味で再読しました。著者の脚本家小山内美江子のボランティアは私たちのそれとは桁が違いますし、世界を飛びまわっていますので誰でもできるというわけではありません。しかし身の回りからはじめる、あるいは身の丈にあったごく小さな活動であってもそれは確実に誰かのためになり、確実に自分を高めてくれるのだということを改めて強く感じさせられました。ボランティア活動は人のためであり、同時に自分のためでもある。それを信じて、基本精神であると再認識しました。どうぞお読みになってみてください。(S. N.)



分類番号 6102 モ

「蛙鳴 (あめい)」 莫言 (財 仁) 吉田富夫/訳 中央公論新社

中国人の生活について不思議の国でものぞき見るように知ったのは、パール・バックの「大地」を読んだ時でした。振りがな付きの文章でしたので、難しいことは別にして大まかな内容は読み取ることができました。主人公の父親の喜びは、将来自分が使うことになる棺桶を寝室に置いて、眺めながら寝ることだと知って驚いたのをおぼえて居ります。この本の著者莫言は 2012 年ノーベル文学賞を受賞しました。現代の中国の作家が、自分の国のどこに目を向け何をテーマとした作品を書いているか興味を持って手に取りました。約 500 頁にわたる長編です。内容は主人公の敬愛する日本の作家杉谷義人先生へ、幼い頃から見えてきた自分の伯母 (産婦人科医) のことを中心に社会の様子を手紙で語りかけるという形で綴られて居ります。やさしい語り口ながら中国が進めて来た「一人っ子」政策によって周囲の人達がどんな非人間的な扱いを受けて来たかを描いて居り、現在の中国で、国家権力が行って来た政策を正面から取り上げ、その非人道性を追求した作家としての自負に心から敬服しました。秋の夜長です。じっくり腰を据えて読んでみてください。(W. T.)

ボランティアおすすめの一冊

分類番号 2108 ヤ J

「戦争を取材する」 山本美香 講談社

著者は昨年 8 月シリアで取材中に銃撃されて、命をおとしました。銃声の響く中最後の瞬間の TV 映像は、突然真白に。著者の無念さを思いました。

この本は 2011 年 7 月 12 日に第一刷発行。2012 年 8 月 29 日第三刷発行とあり、世界に平和を願う多くの人に読まれています。戦争を取材する著者を人々には体が大きく力持ち、屈強な男性にもまけない筋肉モリモリと思われませんが、身長は 154 センチ、冒険家に憧れ、中学生になると海外特派員活動に興味を移していったとあり、時としてやさしいおねえさんと出会えての日常に安らぎも・・・。と思えるような笑顔の子どもの写真、子どもにもわかり易く書かれている本書は、平和のために何が出来るかを考えさせてくれる一冊だと思います。

※国際新聞編集者協会 (IPI) は昨年 8 月にシリアで取材中に銃撃されて亡くなったジャーナリスト山本美香 (当時 45) さんに「ワールド・プレス・フリーダム・ヒーロー賞」を贈ると発表した。山本さんはアフガニスタンやイラクなどの紛争地で長く取材した。危険な状況下での取材活動や報道で多大な貢献をしたことが、評価されたとして「山本さんにヒーロー賞」との見出しで新聞に掲載されました。(H25.5.4 朝日新聞掲載) (K. K.)

分類番号 4101 ウ

「おひとりさまの老後」 上野千鶴子 法研

長生きすればするほど、みんな最後はひとりになる。結婚したひともしなかったひと最後はひとりになる。女のひとはそう覚悟しておいたほうがよい。「ひとはさみしい」とか「だれが老後のめんどうをみるの?」とかネガティブなメッセージは聞きあきた、と著者がはじめに書いているように、この本には、ひとりで生きる智慧というソフト面を重視して「おひとりさまの老後」がこれから訪れるであろうあなたに送るエールです。新刊に「みんなおひとりさま」そして 7 月末には本棚に並び予定の「上野千鶴子が聞く小笠原先生、ひとりで家で死ねますか?」等々も是非おすすめしたい本です。(K. M.)

分類番号 2202 ウ

「働くママに効く心のビタミン」 上野理恵子 日経BP社

著者は仕事と家事・子育ての両立に悩んだ体験を生かし、マザーケアサービスを中心に会社を立ち上げた。育児・家事代行をはじめ、急な子どもの発熱や残業時にも対応するという。働くママにとっては頼もしい応援であり、安心して働き続けられる環境となっている。

働くママからの相談は大変多く、アドバイスをしてきた 15 年目にこの一冊が出版された。仕事、育児、夫、保育、学校、地域、生活のテーマ毎にまとまっている。そのため、知りたいテーマから読んでみることもお勧めである。仕事と家事・子育ての両立に前向きになれるし、元気になることだろう。様々な年代にどこか通じるものがあると思った。(T. Y.)

分類番号 4102 ム

「驚きの介護民俗学」 六車由実 医学書院

民俗研究者である著者は、ある時大学を辞め、介護職員として老人ホームで働き始める。そこで出会う利用者たちから語られる記憶は、民俗事象の研究者として著者に驚きと興奮とひとときの幸せをもたらした。「介護現場は民俗学にとっても魅力的な場所」という民俗学的思考の面白さに思わず惹きつけられてしまう。認知症である利用者たちは、子どものころから青年期についての記憶を鮮明に語り伝える。著者は、それぞれの魅力的な人生を聞き書きでまとめ、生きた証として「思い出の記」を本人と共に家族へ渡している。「利用者の人生の厚みを知ることが利用者に敬意をもって関わることに繋がる。」というメッセージは、高齢者介護に関わる読者に民俗学的アプローチによる聞き書きの可能性を物語っている。利用者達の語る世界の豊かさから「生きる」ということの深さを感じさせられた一冊である。(S. S.)

☆図書室から本の紹介をします☆

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	福島原発事故と女たち 出会いをつなぐ	近藤和子 大橋由香子	梨の木舎	11017
2	この年齢(とし)だった!	酒井順子	集英社	1203サ
3	女ひとりで海外団体ツアーに参加してます	たかさきももこ	メディアファクトリー	2113タ
4	放射能に克つ農の営み ふくしまから希望の復興へ	菅野正寿 長谷川浩	コモンズ	2114入
5	アジアで花咲け! なでしこたち たかぎなおこが海外の働き女子に出会う旅	たかぎなおこ NHK取材班	メディアファクトリー	2202タ
6	新幹線お掃除の天使たち 「世界一の現場力」はどう生まれたか?	遠藤功	あさ出版	2205I
7	すーちゃんの恋	益田ミリ	幻冬舎	3105マ
8	子育てが終わらない「30歳成人」時代の家族論	小島貴子 斎藤環	青土社	3201J
9	福島からあなたへ	武藤類子	大月書店	4207ハ
10	絆ストレス「つながりたい」という病	香山リカ	青春出版社	5101カ

利用ガイド

◎利用時間

9:00~20:00

(休館日前日9:00~17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

図書室より

図書室だより「散歩道」作成ボランティアの皆さまには、開館当初から年に四回欠かさず、「散歩道」の発行、本の紹介にご協力をいただきました。

図書室内には「散歩道」コーナーを設けており、紹介された本を展示しております。立ち止まって紹介文を読む方も多く、「散歩道」で紹介されている本が読みたいのだがどこにあるのか? などという問合せもよくあります。

前向きに生きていく力になるもの、人々の共感を得るような本の紹介が多く、貸出冊数も伸び、感謝申し上げます。今後も皆さまの更なる活躍を期待しております。

発行者：公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター図書室だより作成ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

福島県男女共生センター「女と男の未来館」 TEL 0243-23-8308 (図書室直通)

図書室だよりボランティアとして

第50号 2013. 9. 20 発行

記念の50号発行です。これまで楽しい時間を過ごしてきました。ボランティア研修から始めて10年以上になりますが、本を読んだり、パソコンと向き合ったりとたくさんの経験をさせていただきました。しかし、それ以上に散歩道を作る過程でのたのしい会話が最大の魅力であったことは間違いありません。そのお陰でほとんど休まず参加することができました。

未来館は二本松の霞ヶ城がよく見える所にありますので、四季折々の景色が楽しめます。春の桜や秋の紅葉を見ながら打ち合わせをしたり、時にはみんなで菊人形やちょうちん祭りを見に行きました。

これからもたくさんの本を読みながら、散歩道に関わって行きたいと思います。

(T. Y.)

50号発行おめでとうございます。

ボランティアを始めた2000年から、13年、50号の発行まで携わって来た自分をちょっと褒めてあげたいと思います。私がいちばん最初に紹介したものは「結婚と家族」「智恵子抄の光と影」だったと思います。芸術の精進と日常生活の営み（家庭内の雑事）との間に起こる矛盾に悩む智恵子の姿を綴ったものでした。男女雇用機会均等法施行や、男女共同参画社会となった今でも智恵子と同じ悩みを持つ女性はまだまだ多いと思います。もっともっと変わって行ってほしいもの・・・そして変わらないでほしいもの・・・本を読み自分が共感、感動したものをこれからもご紹介して行きたいと思います。100号まで頑張れるかな・・・？頑張りたいと思います。(K. M.)

「図書室だより」ボランティアに今年度から登録させていただきました。ライブラリー「散歩道」の第49号から登場しています。

第50号の記念号への橋渡し時期にお仲間入りできたことは、「思った時が一番！」をモットーに行動してきた私にとって最高のタイミングでした。丁度、年齢も「アラカン」に向かって日々を重ねています。そして今、自分の人生を振り返り、これからの「生き方」をあらためて考えさせられています。知的好奇心を刺激してくれる図書を手にして、生涯にわたって学び考え活動し続けたいと思う「この時」だからこそその出会いに感謝します。これからも第100号を目指して一緒に！よろしく願いいたします。(S. S.)

小さい頃から本が好き、活字が好きでした。理路整然とした厚め(!)の本は苦手で、どこか遠くを見ているような本を紹介しがちでした。

男女共生センターの図書の紹介の時、女性の立場等あまりこだわりませんでした。思い至ったのは、3・11大震災後、本館で行われた堂本さんの講演でした。阪神・淡路大震災の経験から、避難所生活が長引くにつれて、女性の声が出ているかどうか生活に響いてくるというのです。着替えや授乳について、必要な品々について、何より隣り合って寝起きする時の人の眼等々。東北でもまったく、それ以上に女性の声が出ていないのに驚き、防災計画を作る時から女性が参加するのが大切なだと話されたのです。会議や役職に女の参加を呼びかけていたのは、これだったのかと思いました。これからの世代の人に向けても、小さなヒントかもしれないけれど、発信していければと思っています。(A. K.)

図書室だより「散歩道」にかかわって10年、50号の発行を迎えて、感無量の思いです。先日、自分が今までに何冊の図書をご紹介できたか調べてみました。何と51冊ありました。テーマを話し合っ選書し、読んで、紹介文を書いて・・・その積み重ねです。仲間恵まれ楽しく続けたボランティア活動でした。活動させていただきながら、自分もまた成長できたのだと感謝して居ります。この仲間達がいる限りこれからも続けて行きたいと思ひます。(W. T.)

第2号の散歩道に「情報ボランティアの活動風景」と題した写真がのっています。発行は2001年5月10日。12年余も前です。若かったなあと思ひます。その頃は散歩道の作成ボランティアとしての高揚感強かったですが、10年を超える息の長い活動になるとは思ひてもみませんでした。感慨深いものを感じます。仲間の皆さんとの連帯感、図書室をはじめ共生センターのスタッフの方々の後押しがあつてこそつづけてこられたと思ひます。ずいぶんいろいろの本を紹介してきました。それを通じて自分も幾分か男女共生のあり方、とりわけ女性の生き方について視野を広げることができたと思ひます。50号という記念すべき号の発行に、笑顔の仲間と共に、こうして健康に取り組むことができるのは何よりの幸せと思ひます。共生センター誕生から10数年、まだまだ社会は女性の進出をはばむ要因に満ちています。男も女も真の平等への志を高く掲げて、立ち止まることなく進んでいかなければと思ひます。これからも「散歩道」がほんのささやかでもその一端をになえればうれしいです。読んでくださる皆さん、どうもありがとうございます。(S. N.)

退職して1年くらい経った頃、当センターを訪れていた時に、偶然お会いしたのがセンター発足当時からボランティアとして活動なさっていた「ライブラリー散歩道」の方でした。誘われるままに仲間入りをさせていただきましたが、読書時々、文章書き苦手の私にとってメンバーの皆さんのペースになかなか追いつけないあり様です。原稿の入力を一手に引き受けて下さっている方、構成やテーマの内容などに豊かな知恵(知識)を出して下さる方などメンバーの皆さんの感性とたゆみ無い歩みで50号を迎えることができました。これからも当センターの図書室が皆さまにたくさん利用されるように願っています。

(I. M.)

共生センターの図書室だより「散歩道」の作成に関わらせて頂いて、この度50号を発行することが出来、感無量です。平成13年1月18日センター開設の日には、他のボランティアにまじって、ワクワク、ドキドキしたことが昨日のこのように思い出されます。図書ボランティアは毎号テーマを決めて本を自由に選り紹介しています。

或る号から職員の方が「散歩道」コーナーに展示して下さりその本の下に貸出し中とあると読んで下さっていると嬉しく思ひます。第36号は2010.3.20の発行で一歴史の中の女たち一というテーマで気軽に読める女性史を選書し、私は本県出身の氏家幹人著「江戸の女の底力」をとりあげました。この本を読んだ福島民友新聞社の編集日記氏に5月21日の新聞でこの本の中身を引用して頂き、この図書室に新聞社の方もいらしているのだと感激致しました。平成25年度のセンター要覧によれば、図書・資料は約4万冊(目標蔵書数は5万冊)とあり、図書室の図書貸出冊数はこの年一年間で延べ4,620冊ということです。

地域に開かれた居心地のよい図書室で読んでみたい本を見つけてみませんか。私たちはこれからもテーマを決めて良書を選り「散歩道」をお届けして参ります。(K. K.)